

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 6 年 3 月 30 日

事業所名 放課後等デイサービス ウイズ 鳥栖教室

保護者等数（児童数） 30名 回収数 24名 割合 80 %

|  | チェック項目  | はい | どちらともいえない |     | わからない | ご意見   | ご意見を踏まえた対応  |
|--|---|----|-----------|-----|-------|---|---|
|  |   |    | はい        | いいえ |       |   |   |
| 環境・体制整備  | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 18 | 1         | 1   | 3     | ・運動場がないことを子どもがきにしている。<br>・もう少し広げればよいと思う。                  | ・最低限のスペースは確保しています。<br>・運動場はないですが、駐車場のスペースも使いながら室内と外で分けて活動を行っています。   |
|  | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 17 | 1         |     | 6     | 利用日に子供の人数、職員の人数が分からない。                                    | ・基準の人数は確保しておりますが、支援の内容等によって不足していると感じる時がありますので職員の補充を考えています。  |
|  | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 16 | 2         |     | 6     | ・ホワイトボードに分かりやすく書いてあると思う。<br>・室内の様子やバリアフリー化がどうかまでは見たことがない。 | ・スロープや手すりなどの設備は整っていませんが、車いすの方でも入りやすいくらいの段差です。<br>・これからも通われるお子様が分かる、分かりやすい様配慮させていただきます。                        |
|  | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 21 | 1         |     | 2     | ・お迎えに行った際に暖房が効きすぎているのではと思うことがあった。                         | ・体温調整が苦手なお子様もいらっしゃいます。その都度お子様全体に伺いながら調整をさせてもらっています。<br>・夏は暑がる人、冬は寒がる人で室内の温度調整を行う事もあります。                       |
| 適切な支援の提供   | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか  | 21 |           | 1   | 2     | いつも楽しく通わせてもらっている。必要な関わりをしてもらっている。                         | これからも必要に応じて送迎時の相談や電話連絡等を行い、アセスメントを確認しながら計画を作成していきます。  |
|  | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 20 | 1         |     | 2     |   | 「発達支援」はお子様に対しての療育支援を行います。「家族支援」は保護者の方からのご相談に応じさせていただいています。「地域支援」は通われている学校、他事業所等と連携をとりながら、必要な支援を検討させていただいています。 |
|  | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 21 | 1         |     | 2     |   |   |
|  | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか  | 21 |           |     | 2     | ・普段家ではやらないことをやっている。                                       | 毎月取り組んでいるカリキュラムもありますが、曜日等固定化しないよう取り組んでいます。  |
|  | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 4  | 5         | 1   | 14    |   | お子様のほとんどが地域の学校や他事業所、学童等と併用されており、事業所としての機会は設けていませんが、ご要望等ありましたら検討させていただきます。                                     |
| 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか  | 23  |    |           | 1   |       |   |   |
| 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 21  |    |           | 3   |       | ご希望がありましたら、個別支援計画の内容をしっかりとお伝えできる時間を設けていきたいと思っております。       |   |

|          |    |   |    |   |   |   |   |   |
|----------|----|---|----|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか   | 16 | 2 | 4 | 2 |   | 個別相談としてお受けしています。お気軽にご相談ください。  |
|          | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか                                | 23 | 1 |   |   |   | ・送迎や連絡帳等で日頃の様子や相談、悩み事についてその都度対応しております。必要な場合は持ち帰り職員間で話し合いを行い、対応する様に努めています。   |
|          | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  | 12 | 6 | 1 |   |   | 個別相談としてお受けしています。お気軽にご相談ください。  |
|          | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   | 1  | 6 | 8 | 8 |   | ・必要性を今の所感じない。<br>ご要望があれば検討させていただきます。  |
|          | 16 | 子どもや保護者からの相談や甲入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や甲入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 18 |   |   |   | 6 | ・お迎えの変更など臨機応変に対応してもらっている。<br>ご希望がありましたら、個別で対応させていただきます。   |
|          | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 22 | 1 |   |   | 1 |   |
|          | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 21 | 1 |   |   | 3 | 会報は発行していませんが、個別で不定期になっていますが写真等送っております。活動概要や行事予定等は毎月、配布して発信をしています。   |
| 非常時等の対応  | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか  | 24 |   |   |   |   | ・これからも細心の注意を払っていきます。  |
|          | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。          | 14 | 3 |   |   | 6 | 職員間では周知しています。しかし、保護者へのお伝えが十分にできていない事もありますので、周知徹底に努めていきます。   |
|          | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   | 15 | 1 | 1 |   | 7 | 定期的に訓練を実施していきます。保護者にも活動プログラム等で発信し周知してもらえる様に努めていきます。   |
| 満足度      | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 15 | 1 | 1 |   | 7 | 少人数で過ごしやすい。<br>・これからも普段できない体験やお子様ワクワクしながら参加できる活動プログラムを考えて取り組んでまいります。  |
|          | 23 | 事業所の支援に満足しているか  | 21 | 2 | 1 |   |   | 支援の内容が分かりづらい様に感じる。<br>・これからもお子様の成長を保護者の方と一緒に見守りながら、お子様、保護者に寄り添いより良い支援ができるよう努めていきます。<br>・支援内容も保護者の方、お子様に分かりやすい様努めてまいります。 |

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。